

一般質問通告一覧表

令和6年3月第1回定例会

(全て 一問一答)

質問者	質問事項	質問の要旨
瀧見 明彦	(1) 岬町の自然エネルギー活用について	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の現状と課題は。 ・風力発電の可能性は？ ・小規模水力発電の将来性について。
奥野 学	(1) 南海・東南海大地震に備えた対策について	<p>今まで神戸、熊本、能登、新潟、東北と大地震が発生し、大被害をもたらした。今後の南海、東南海大地震に備えて下記の避難所対策等が必要です。</p> <p>①町内3小学校、岬中学校、町民体育館に停電時に自家発電装置により空調設備が整備されました。</p> <p>今後、その他指定一般避難所(さくら会館、深日会館、緑会館、朝日会館、孝子小学校等に順次自家発電装置の設置を要望する。</p> <p>②令和6年1月1日能登半島大地震が発生しました。今後早急に障害者、高齢者の方々も含めた全町あげて避難訓練を実施すべ</p> <p>③優先順位を第1位に岬町本庁舎建て替えを何としてもやらなければならない。</p> <p>国に財政支援の要望活動を早急にすべきです。</p>
	(2) 深日漁港ふれあい広場について	<ul style="list-style-type: none"> ・深日漁港ふれあい広場付近の施設道路が冠水した。大阪府水産課の潮位調査結果はどうだったのか？ ・大阪府水産課での今後の対策はどの様になるのか？ ・大阪府から岬町へ移管後は、多くのインバウンドを巻き込む施設(地元魚介の海鮮市場、シーフードレストラン)の設置を要望する。
出口 実	(1) 国土調査地籍調査法について	<ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査事業の概要について ・事業に対する国、府、町の負担割合は ・地権者説明会について ・この事業に対するメリット、デメリットはどうなるのか。
中原 晶	(1) 岬町シルバー人材センターの健全な運営のために	<p>町政運営方針(案)で、「シルバー人材センターの活動を引き続き支援する」とあり、岬町として、シルバー人材センターが定款の目的を達成できるよう「活動補助金」を支出し、岬町職員を現事務局長・理事として派遣していると考える。</p> <p>「横領(着服)」については、昨年12月7日付でシルバー人材センターが刑事告訴したが、その後の警察・検察の捜査など、進捗を</p> <p>昨年12月議会(厚生委員会)において、さらなる調査の必要性と、報告書の提出をシルバー人材センターに求めること、それを議会にも配布することを求めたが、対応はなされたか。</p>
	(2) 大阪・関西万博について	<p>大阪・関西万博の開催まで1年余となったが、能登半島地震を経て、開催に反対の世論が高まっている。</p> <p>町政運営方針(案)では、「町民・行政がより一層の協力を推進し、未来へ向かって飛躍・発展する契機となるよう…機運醸成に取り組めます」とあるが、岬町ではどのような取り組みを計画しているのか。</p>
	(3) 防災対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震を受けて、災害発生時への備えの強化が必要であることを思い知らされた。 ・公共施設や民間住宅の耐震化率を確認する。 ・想定される被害規模に応じた備蓄や資機材の備えはいかがか。 ・更新や追加の計画は。 ・老朽上下水道管の耐震化が必要ではないか。 ・港湾の地震・津波、風水害対策はいかがか。 ・「防災・安全交付金」を活用して、津波の想定浸水区域に避難所までの避難経路の看板を設置してはどうか。

質問者	質問事項	質問の要旨
大里 武智	(1) 地域の野良猫対策について	・地域の野良猫の現状とその対策について
	(2) コミュニティバスの運行について	・コミュニティバスの運行の課題と今後について
	(3) 淡輪幼稚園について	・令和6年度の園児募集の状況と新年度のあり方について ・町立幼稚園の今後について
坂原 正勝	(1) 教育費負担軽減のために	・町立小中学校の給食費の完全無償化を求める ・フリースクールの学費支援を求める
	(2) 行政のデジタル化について	・住民の利便性向上に向けた取り組みの進捗状況を問う
	(3) 移住定住促進策について	・企業誘致の現状を問う ・移住者支援の現状を問う ・移住事業者の支援をしてはどうか？
谷地 泰平	(1) 公民館・図書館等整備事業について	・現在の公民館・図書館等整備事業の進捗状況は？ ・住民からは「みさき公園」への設置を望む声がとても多いが、設置場所についてどのように考えているのか？ ・新たなみさき公園整備の事業者とは協議を行っているのか？ ・基本計画策定にあたってはより多くの住民の声を聞いていく必要があるが、今後どのように進めていくのか？
	(2) 学びにアクセスできない子どもたちをゼロに	・岬町の「不登校」「隠れ不登校」の子ども数はいくつ？ ・文科省が進めている「学びの多様化学校」の状況は？ ・全国的に増えている「オルタナティブスクール」とはどんな学校か？現状と課題は？ ・学びにアクセスできない子どもたちをゼロにすることを目指して「オルタナティブスクール」を選択する子どもたちを支援すべきで
	(3) みさきプロモーションについて	・広報「岬だより」の作成方法と費用は？ ・広報「岬だより」で特集記事はいつから作成するのか？ ・広報モニターを設置してはどうか？ ・ホームページ、公式SNS(LINE、インスタグラムなど)はどのように運用しているのか？ ・岬町をしっかりとプロモーションする為に「広報課」を設置すべきではないか？
早川 良	(1) 小中学校の通学費補助について	・現在の小中学校の通学費自己負担の現状は？ ・孝子地区等の通学費(公共交通費)について、へき地児童生徒援助費補助金を活用した通学補助は実施できないのか？
	(2) あたご山の環境保全について	・大切な観光資源のあたご山の今後の保全、つつじを守る町の姿勢を問う！
松尾 匡	(1) ハラスメントのない町に！現状把握と改善対策を！	議会におけるハラスメント条例と職員のハラスメント要綱が令和5年12月に制定されました。 それに伴い、職場内の現状を把握するべきと考え、職員に対してのアンケートの実施を試みましたが、行政側からアンケートの実施はできない！との回答がありました。 ・条例と要綱を制定するだけで、果たして改善できるのか？ また条例と要綱の中身についても、各々の認識のズレや条文の不十分さなどが確認されている中で、果たしてこのままで良いのか？ ハラスメント対策に先進的な自治体の動向を参考にしながら、町の意向を伺い、ハラスメントのないまちづくりへの道を検証します。
	(2) お試し移住サービスの拡充で、町の魅力を伝える機会に！	空き家対策の一環として各自治体が今、お試し移住サービスを充実させています。 移住の前にその地域を肌で感じることで、移住後のイメージが生まれやすくなります。 僅かな時間に、より岬町の魅力を伝えられる、お試し移住サービスを展開することで、空き家対策と移住者支援双方に効果を得られる制度の提案をします。